

# 全国高校サッカー県大会あす決勝 昨年と同カード

## 山田高 十和工を終始圧倒

## 野辺西 後半に東義を逆転

第97回全国高校サッカー選手権県大会は15日、青森市の県総合運動公園陸上競技場で準決勝2試合を行い、青森山田と野辺地西が決勝に駒を進めた。青森山田は22年連続、野辺地西は2年連続の決勝進出で、前回と同カードとなった。(秋村有香)

### 優勝するため最後まで体を張る



【準決勝・東奥義塾—野辺地西】後半7分、野辺地西のMF工藤拓のシュートが相手DFに当たりゴール、2—2の同点とする

十和工と対戦した青森山田は終始試合の主権を握った。前半2分フリーキックに合わせたDF二階堂が先制ゴールを奪うと、セットプレーや精度の高いシュートで次々と得点。9人が1ゴールずつ決め、9—0で快勝した。野辺地西は前半9分、東奥義塾に先制点を奪われ追いかける展開に。互いに点を取り合って迎えた後半7分、途中出場のMF工藤拓のシュートが相手に当たりオウンゴールで2—2の同点に追いつき、同12分にはMF沼田が先制点を奪った。倉がゴールを決め逆転に成功。苦しみながらもリードを守りきった。決勝は17日正午から同競技場で行う。青森山田は22年連続24回目、野辺地西は初優勝を目指す。

### 野辺西

「……(最初の)失点に野辺地西の三上監督は硬い表情を見せた。試合開始から9分で先制点を奪われ、選手に動揺が見られた。積極的な攻めを欠く場面もあり、「追いかける展開で慎重な試合になってしまった」と苦悶を隠さなかった。自分たちのペースで進めたかった。一番の反省点。逆転で接戦を物にした野辺地西の三上監督は硬い表情を見せた。新人戦、高校総体と大会決勝で敗れた絶対王者・青森山田と再びぶつかる。主将館陸は「優勝するために野辺地西に入らなければならない。最後まで体を張り